

- (3) 参加者 各教育事務所管内小・中学校教員1,763名  
(小学校教員 1,183名、中学校教員 580名)
- (4) 市町村教育委員会ならびに体育研究会等関係教育機関の協力を得て・円滑に且つ効果的に運営がなされた。小学校部会は低・中・高学年部会等にわかれ中学校とともに各領域とも徹底できる運営上の配慮がなされ多大の効果を収めた。

## 2 水泳実技講習会

児童・生徒の水難事故対策にあらゆる面から指導と管理に努力しているが、前年度に引き続き水泳実技講習会を開催して、水泳の実技を通して指導力を高め、安全指導の徹底を期した。また、各学校に手引書「水泳の指導・管理の手びき」を配布して安全指導の浸透をはかった。講習会の実施状況は下記のとおりである。

- (1) 期日 7月中の2日間
- (2) 場所 各教育事務所単位にて適宜な場所を選定して実施
- (3) 参加者 小学校・中学校教員 653名
- (4) 状況 市町村教育委員会、体育研究会等の関係教育機関、水泳連盟、警察等の協力を得て円滑に実施した。河川を利用して実際に即した指導法や小学校低学年児童を担当することの多い女子教員の参加をより多くするために女子のみの日程を組むなど、この講習会の所期の目的をじゅう分果されるよう各会場ごとに、それぞれの運営上の配慮があつて非常に効果的であった。

## 3 第11回福島県高等学校体育大会

福島県高等学校体育連盟と共催にて、高等学校における各種体育大会を統一し、真に学校教育の一環として高等学校生徒にふさわしい体育大会とするべく開催した。

- (1) 前期大会（陸上競技・軟式庭球・山岳）  
郡山市営陸上競技場 6月1日～3日 900名  
郡山市営庭球場 6月1～3日 378名  
飯 豊 山 6月1日～3日 200名
- (2) 後期大会（籠球外19種目）  
郡山地区会場 6月22日～25日の4日間 4,800名
- (3) 自転車競技  
会津若松市競輪場 6月20日～21日 40名
- (4) ホッケー競技  
福島第一中学校 6月27日 30名
- (5) 水上競技大会  
郡山市営プール 7月24日・25日 260名
- (6) スケート競技大会  
土湯スケート場 41年1月13日・14日 34名
- (7) スキー競技大会  
猪苗代スキー場 41年1月21日～24日 72名

## 4 第7回福島県教職員スポーツ大会

- (1) 主催  
福島県教育委員会・福島市教育委員会・福島市町村教育委員会連絡協議会・福島県体育協会・福島県小学校長会・福島県中学校長会・福島県高等学校長

協議会・福島県高等学校教職員組合・福島市体育協会

- (2) 期日 昭和40年8月29日（日）1日間
- (3) 開催地 福島市 19会場
- (4) 開会式会 福島大学教育学部附属小学校校庭
- (5) 実施種目 ○陸上競技（男女）○バレーボール（男女）○バスケットボール（男）○軟式庭球（混合）○軟式野球（男）○柔道（男）○剣道（男）○卓球（男女）○ソフトボール（校長種目）

## (6) 成 績

順	1	2	3	4	5	6
出張所	石 城	信 夫	北会津	伊 達	相 馬	安 達

## (7) これまでの開催地

回	1	2	3	4	5	6	7
年 度	34	35	36	37	38	39	40
開催地	福島市	郡山市	郡山市	郡山市	郡山市	郡山市	福島市

## 5 昭和39・40年度体育研究指定校発表会

2か年継続研究の結果を発表公開して地域の学校体育の推進校として今後の指針を明示した。

共通研究テーマ 「児童・生徒の発達の特性に応じた各運動の指導の段階をどのようにすればよいか」

教育事務所	学 校 名	研 究 内 容	発表期日
信 夫	信夫村立 信夫中学校	球技における指導の段階をどのようにすればよいか	10月18日
郡 山	郡山市立 大槻小学校	体力を高めるための器械運動の効果的指導はどうしたらよいか	10月15日
西白河	表郷村立 表郷中学校	生徒の発達の特性に応じた陸上競技の段階的指導について	10月14日
東白川	鮫川村立 鮫川小学校	体育科のグループ学習をどのように進めたらよいか	10月12日
田 村	三春町 船引町 組合立 要田中学校	体育クラブの指導と実践についての研究（主として球技） 体育の施設用具の充実と改善くふう	10月20日
北会津	会津若松市立 第四中学校	球技の系統的段階的指導はいかにあるべきか 保健体育科の信頼度の高い客観性に富む評価はどのような方法がよいか	10月22日
石 城	常磐市立湯本 第三小学校	各運動領域における社会性の育成、とくにボール運動を通しての社会性の伸長	10月8日
相 馬	原町市立原町 第二小学校	陸上運動、その他の運動の領域における発達段階に応じた指導	10月7日

各学校とも系統的段階的な取り扱いと充実した指導法により、効果をあげた。体育施設設備、用具等については地域社会の絶大な協力と創意くふうの努力により、充実整備し、体育学習指導の効果を高めるとともに、自由時における利用度を高めて、運動の生活化を促進し、また、指導の充実とあいまって、児童・生徒の体位、基礎的運動能力、技能態度など一段と向上し各管内の学校への啓蒙に大きな力となった。

## 6 第8回福島県学校体育研究大会

- (1) 期日 昭和40年11月1日・2日の2日間
- (2) 会場 伊達郡桑折町立伊達崎小学校